

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary 

Be the
Inspiration

インスピレーションになろう



第1304回 例会報告 (2018年8月25日)

鈴鹿・亀山グループ 5クラブ合同例会

会長・幹事

◆ガバナー公式訪問5クラブ合同例会 & インターシティミーティング

10:30 点鐘
国歌斉唱
ロータリーソング
開会の挨拶
特別参加者の紹介
鈴鹿市長挨拶
5クラブ会長紹介
会長挨拶
11:00 ガバナー挨拶・卓話
11:30 講演 元NHKアナウンサー
渡辺 誠弥 様

■ テーブルディスカッション

12:30 5クラブ幹事報告
食事
テーブルディスカッション
14:00 カウンセラー講評
次期開催クラブ発表
次期開催クラブ会長挨拶
閉会の挨拶
点鐘
閉会ソング
14:30 終了



■ 村山ガバナー補佐 挨拶

本日はご多忙の中、また大変暑い中、IM及びガバナー公式訪問クラブ合同例会に鈴鹿市長の末松則子様はじめ、たくさんの方々にご出席いただき、心よりお礼申し上げます。

ガバナー補佐を仰せ付かりまして一年が経ちました。確か一年前、田山直前ガバナーに同行してのアトランタでの世界会議から始まったと記憶しております。そういった中でいろいろと勉強させていただき、木村ガバナー、劔田パストガバナー、岡田パストガバナー、河田直前ガバナー補佐にご指導をいただき、また 5 クラブの会長・幹事・会員の皆様のご協力をいただきまして、本日を迎えることができました。それは非常に嬉しく、私にとっては、一番喜ばしくやりがいがあるなというものであります。

5 クラブを訪問させていただき、いろいろな意見を聞かせていただいた中で、一番多かったのは、当グループ内での各クラブ間の交流並びに親睦をもっと深めて欲しいという要望でした。それに沿ったかたちで、一年間頑張らせていただこうと思っております。そのようなことを踏まえ、R I のテーマに沿って木村ガバナーの方針、重点目標をお伝えし、成功するように頑張っていきます。

本日は、渡辺先生をお迎えしてのご講演を聞いていただき、それをもとに今後のグループもしくは各クラブの導き方を考えるきっかけとなればと考えております。最後になりますが、当亀山ロータリークラブは非常に人数が少なく、ご迷惑をお掛けすることがあるかとは思いますが、皆様のご協力とご指導のもとで一生懸命進行していきたいと思っております。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

■ 亀山ロータリークラブ 伊藤淳彦会長 挨拶

皆さん、おはようございます。鈴鹿・亀山グループ 5 クラブを代表して、ホストクラブであります亀山ロータリークラブ会長として挨拶をさせていただきます。

本日は、国際ロータリー第 2 6 3 0 地区鈴鹿・亀山グループ I M、ガバナー公式訪問合同例会を開催するにあたり、鈴鹿市長末松 則子様には、ご多忙のところご臨席いただきましてありがとうございます。そして、国際ロータリー第 2 6 3 0 地区ガバナー 木村静之様、直前ガバナー 田山雅敏様、パストガバナー 劔田廣喜様、岡田信春様、はじめ多くのご来賓の皆様、各ロータリークラブの会員の皆様に御出席を頂き、盛大に開催できます事、心より御礼申し上げます

さて、本日は初めての試みとなりますが、ガバナー公式訪問 5 クラブ合同例会とインターシティミーティングを区切りなく進行していくかたちを執りました。

国際ロータリーのテーマでございます“インスピレーションになろう”のもと、木村ガバナー様の卓話、講師の元NHKアナウンサー渡辺様にご講演していただき、そのあと場所を替えてテーブルディスカッションを行います。地区の目標であります「例会の充実」「奉仕活動の充実」「公共イメージと認知度の向上」の 3 テーマについて、ディスカ



ッションしていただきたいと考えております。こちらの方ではお酒の用意もしておりますので、楽しく、活発なご意見をいただき、皆様の親睦を図っていただいて、楽しい一日となりますように高い席からではございますが、お礼を申し上げます。

何かと不行き届きの点がございしますが、亀山ロータリークラブは、人数が少ないいうえ少人数で頑張っておりますので、ロータリーの友愛の心に免じて許していただきたいと思います。今日一日、よろしくお願いいたします。

■ 鈴鹿ベイロータリークラブ 出席報告

2週間前の補正後出席率 12名中 9名 75.00%

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
8月25日	12名	6名	6名	50.00%

■ 国際ロータリー 第2630地区 鈴鹿・亀山グループ5クラブ合同例会

基調講演 国際ロータリー 第2630地区 ガバナー (2018-2019) 木村 静之 様

皆さんこんにちは。本日は、鈴鹿市長末松則子様ご出席のうえ、合同例会とIMが開催されますことまことにおめでとうございます。

今年度RI会長のテーマは“Be The Inspiration” 「インスピレーションになろう」です。バリー・ラシン会長はバハマのかたです。バハマは、米フロリダ半島とキューバの間、カリブ海に浮かぶ島です。テーマロゴはカリブ海の荒波を表しています。英語のINSPIREは、「鼓舞する」「意欲を喚起する」という意味がありまして、「インスピレーションになろう」とは、ほかの人たちに「インスピレーションを与える」、「何かをやろう」という意欲を吹き込む、「心に火をつける」そういう人になろう、という意味になります。6月に逝去された服部芳樹パストガバナーは「燃えよロータリアン」という名訳をされました。ラシンさんは、前向きな変化を生み出す意欲を、課題に立ち向かう意欲を、クラブからも、地域社会からも、組織全体からも、引き出したい、意欲を引き出すための「インスピレーション」になりたい、あるいはなしてほしいと述べておられます。



今年度の、私のガバナーとしてのスローガンは、「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」というものです。まず、「理念をかかげ」ですが、近年、世界のロータリーの趨勢はいささか「奉仕活動のロータリー」に偏っていて、奉仕活動のロータリー 増強、財団、寄付、プロジェクト推進を重視する面、そして理念のロータリー 職業奉仕、4つのテスト、例会を重視する面など、理念が薄くなっている、という意見が出ています。私は、奉仕プロジェクトを活発に行うことは非常に大切なことだと思っています。ただ、世界では新興国の会員が増えてきたということもあって、「奉仕活動のロータリー」に傾いていると言えます。そのためRIは「ロータリーの多様性」を認めざるを得ない状況で、2016年の規定審議会において大きな改正がなされ、例会は月2回でもよいとされました。当時のRI会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重

要だ」と述べました。サンディエゴの国際協議会での私の体験でも、新興国は先進国のロータリーから援助を引き出すことに熱心です。こうした新興国の会員が増加する一方で、先進国の会員が減少し、「奉仕活動のロータリー」に偏っている状況にあります。そういう状況で、私はあえてロータリーの原点である理念を強調しなければならないと思うのです。まず、職業奉仕の幹の中にある「奉仕の理念」をしっかりとかけろ。「かけろ」とはロータリーのモットー・四つのテスト・ロータリーの目的（綱領）に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるをえません。

そして、次に大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。理念の浸透を図るのは例会です。例会に出れば先輩や友人に会えるし、顔を合わせてこそ信頼関係を育むことができるのです。「例会に出席義務」があるといいますが、義務感から出席するのではなく、楽しいことがあるから出席するというようになっていただきたい。他方、例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中で「研修リーダー」を選任して、クラブ内での研修全般に配慮してもらうのがよいと思います。

さらに会員基盤の強化が必要です。日本のロータリーは20年前に13万人でしたが、今は9万人です。若い世代にも、社会経験豊富な退職者世代にも、女性会員にも入っていただきたい。今や、女性が職業を持つことも社会的な活動をすることも普通です。会員構成もそれに応じて多様になってほしい。世界で女性会員の割合は今20.7%ですが、日本は6.6%です。これを5年以内に15%以上にしたいと提唱されています。昨年度の増強の状況は、地区全体で純増40～50名です。これは好成績です。皆様のご努力の賜物です。他方、各クラブ平均1人増えれば地区全体で75人増えるはずですが、そこまでできていません。よく増強セミナーで、増強のためにどうすればよいかという話が出ますが、私は、クラブの中で一人一人の会員を大切にすること、会員が奉仕に対する意欲をもつこと、クラブを魅力あるものにすることであると思います。

次に、意欲を喚起するにはどうしたらいいのかということです。ラシン会長は行動力のあるリーダーらしく、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」とか「自らの行動で範を示す」、ということをおっしゃられます。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案します。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。ロータリーでは、見返りはお金ではなく感動です。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。

次に、共に行動です。奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。地域社会で改善すべき点、あるいは世界で必要とされている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクトは、

すでに多くのクラブで実行されています。「グローバル補助金」は、少し規模の大きい国際的な活動ですが、挑戦する価値はあると思います。

グローバル補助金事業としてご紹介したいのは、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業です。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域があって、地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供するとともに、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進をしました。この事業はRIの2016-17年度年次報告に取り上げられました。中津川市がレジストロ市と姉妹都市というご縁だったそうです。もうひとつご紹介したいグローバル補助金事業は、「基本的教育と識字率の向上」の分野で、今年度、当地区の多治見リバーサイドクラブ、美濃加茂クラブ、鈴鹿ベイクラブが、タイのシロムロータリークラブと共同して、タイの「教員の研修」プログラムと80校に教材を寄贈する事業が決まりました。これも注目に値します。グローバル補助金事業は、6つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件、現地の人たちが活動に加わるといったことも必須です。言語など意思疎通が難しいことがあります。地区の委員会（奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会）がサポートしてくれます。持続可能性について。持続可能性（sustainable）という言葉は、最近、国の政策で「持続可能な開発」とか「環境の持続可能性」、企業経営で「企業の持続可能性」などと言われます。ロータリーでは、「持続可能な変化をもたらす」事業をと言われます。単に物を寄贈するだけというのではなく、現地の人も加わって、将来的に現地の自助努力でやっていけるように援助する、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。時々、「財団の補助金は要件が厳しくて使いにくい」という声も聞きますが、それは、財団委員会が、ルーズな使い方にならないよう管理しているからです。

次に、公共イメージと認知度の向上についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。「いいこと」をしてそれが人々に知られれば広がりができます。世間から注目され、人が集まるようになり、我々の励みになります。その結果、増強にもなり、奉仕の拡充になります。方法としては、奉仕活動の機会をとらえて、「視覚的に」伝えるのが効果的です。チラシや横断幕などです。クラブがこれまで地域社会で行ってきた活動を伝えるとともに、「4つのテスト」などロータリーの理念も伝え、ロータリーがポリオ撲滅に力を入れていることも伝えたい。

“PEOPLE OF ACTION” 「世界を変える行動人」はRIのキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真を掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。このロゴはマイロータリーからダウンロードできます。チラシなどに使ってみてはいかがでしょうか。

ロータリー賞、RI会長特別賞を目指していただきたい。昨年まで「RI会長賞」と言っていました。3つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつか並んで選択するようになっていきます。それほどハードルは高くないので挑戦してください。ただ、クラブセントラルか

ら入力するのに多少のコツが必要ですが。

ポリオ撲滅の問題があります。30年前、野生型ポリオウィルスによって麻痺障害を発症する人（子ども）は、毎年推定35万人でした。それが、99.9%以上減少しています。現在発症が確認されるのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国だけです。3年間続けて0になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとパキスタンで7月までに12件発症が確認されています。残る0.1%のポリオとの闘いが問題です。ワクチン投与の妨げとなっている要因は、遠隔地であったり、紛争地であることです。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続き寄付のご協力をお願いします。

もうひとつは、環境の持続可能性を守ることです。ラシンさんも講演で強調していました。環境汚染は、毎年、多くの子どもの死亡原因となっており、地球規模で、現在数十億人が深刻な水不足を抱えて暮らしています。地球温暖化で異常気象や海面上昇といった深刻な問題が発生しています。ロータリーが、先手を打つことのできる組織となれるよう願っています。

日本のロータリー100周年について。日本のロータリーは1920年に東京で創設されました。このたび、「100周年実行委員会」から、各地区に、記念の鐘（ゴング）が贈呈され、ガバナー公式訪問の際に点鐘していただいております。台座に地区全クラブの名前が刻まれています。

米山梅吉記念館についてお話しします。静岡県にありますが、これも創立50年になります。米山梅吉さんの遺徳を顕彰し広く知っていただく趣旨で設けられました。大修繕の必要があることなどで、募金を全国のロータリアンに呼びかけています。米山奨学金の寄付とともによろしくをお願いします。

10月に岐阜市で地区大会を開催いたします。2日目にはアグネス・チャンの講演があります。どうか多数の皆さんのご登録をお願いします。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

The Rotary Club of Suzuka Bay, District 2630, Japan, R.I.

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30～19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770

第1305回 例会報告（2018年9月6日）

夏季親睦例会

クラブ奉仕部門

■出席報告

例 会 日	会員数	出席者	欠席者	出 席 率
9 月 6 日	12 名	7 名	5 名	58.33%

2週間前の補正後出席率 12名中 7名 58.33%